

発行日 平成24年12月21日

# どんやま

第118号 児童数 398名  
男子 183名・女子 215名  
発行：岡崎小学校  
PTA広報部

## 2学期号

2学期には夏祭りや運動会など、楽しい思い出をたくさん作ることが出来ました。それぞれのイベントの様子について振り返ってみたいと思います。各行事にご協力いただいた役員や保護者の皆様、大変ありがとうございました。

### 7月28日 夏祭り



販売好評でした

かなりの暑さで販売も大盛況  
追加販売もありました



ゲームコーナー

ゲームコーナーは何処も  
こども達の行列



F-プロジェクトの  
熱いステージ



今年は岡崎村応援団と  
6年生がコラボ



お化け屋敷には  
大行列



今年は地域のコーラスの  
メンバーも参加

### 8月5日 市PTAバレー・ソフトボール大会



キャプテンを中心に声を掛け合いながら一丸となって戦っていました。

# 10月6日運動会

10月6日に運動会が行われました。子どもたちは日ごろの練習の成果を出し切り、精一杯元気に取り組みました。

【たまいれ】1年生にとっては初めて岡崎小学校で迎える運動会、うまく入るかな？

【かけっこ】運動会の花、かけっこです。お父さん、お母さんも応援に力が入ります。



【棒取り合戦】

みんな笑顔で頑張っていました。



【大玉ころがし】

簡単そうに見えて、意外に難しい。



【リレー】

クラスを応援。みんなの気持ちが一つになります。



## 【組体操】

今年の組み体操のテーマは「仲間を信じて」。練習中、手足が痛くてくじけそうになった時は仲間で励ましあい、またアピールタイムや大技の練習では、なかなか成功しませんでした。でも誰もがあきらめずに一生懸命に練習し、本番ではより迫力ある演技で成功させました。

♪ ヒカリへ



♪ 生きてる生きてく

♪ pride

# みんな輝いていました



白熱した演技がいっぱいの素晴らしい運動会でした。

# 校内親子清掃



みんな一生懸命頑張ってキレイにしてくれました



延期になっていた試食会が行われました。久しぶりに給食を食べ、子供の頃を思い出しました。

# 10月27日 けん玉教室

けん玉和歌山支部の方にご指導頂き、みんなでけん玉を楽しみました。



# 10月31日 交通安全教室

警察と交通安全推進委員会と交通安全母の会教育部の方に来ていただいて、歩行者と自転車の交通ルール、マナーについてのお話と実演がありました。



11月3日  
岡崎史跡巡り



私たちの住む岡崎の歴史について楽しく学びました。

11月24日  
紙飛行機教室



今まで見たことのない大きな紙飛行機を作り、子どもたちも大興奮。

12月2日  
PTA合唱祭



PTA 合唱祭が和歌山市民会館で行われました。10回の練習の成果を存分に出しきって頂き、子供たちの踊りも可愛く、美しいハーモニーを奏でてくれました。

本部からのお知らせ

平成25年度の本部役員選考が終了しました。小手穂地区家庭数の増加により、来年度から小手穂地区を2つに分けることになりました。これに伴い、地区別子供会も2つに分けます。東部コミュニティセンターより北を小手穂1、南を小手穂2とします。また、本部役員選考の統合地区でも、1グループとして独立します。

ご家族で考えて  
みてください

松谷みよ子さんの絵本に「わたしのいもうと」（偕成社）がある。  
これは実話をもとにして書かれた作品である。学校、保護者、ご近所、職場、いろいろな場所での  
ろんな問題があります。一度、ご家族で考えてみてください  
広報部員一同

### わたしのいもうと 松谷みよこ

この子は、わたしの妹。向こうを向いたまま ふりむいてくれないのです。妹の話、聞いて下さい。

今から7年前、わたしたちはこの町に引っ越してきました。トラックに乗せてもらってふざけたり  
はしゃいだり、アイスクャンディーをなめたりしながら。妹は小学校4年生でした。

けれど転校した学校で、あのおそろしいいじめが始まりました。

言葉がおかしいと笑われ、とびばこができないといじめられ、クラスのはじさらしとののしられ、  
「くさいブタ」と言われ。ちっともきたない子じゃないのに、妹が給食を配ると受け取ってくれな  
いと言うのです。

とうとうだれひとり口をきいてくれなくなりました。一月たち、二月たち、遠足に行ったときも妹  
はひとりぼっちでした。

やがて妹は学校へ行かなくなりました。ご飯も食べず、口もきかず、妹はだまってどこかを見つめ、  
お医者さんの手もふりはらうのです。でもその時、妹の体につけられたあざが、たくさんあるのが  
わかったのです。

妹はやせおとろえてこのままでは命がもたないと言われました。かあさんが必死でかたく結んだく  
ちびるにスープを流しこみ、だきしめて、だきしめて、いっしょにねむり、子守歌を歌って、よう  
やく妹は命を取りとめました。

そして毎日がゆっくり流れ、いじめた子たちは中学生になってセーラー服で通います。ふざけっこ  
しながら、かばんをふりまわしながら。でも妹はずっと部屋にとじこもって、本も読みません。レ  
コードもききません。だまってどこかを見ているのです。ふり向いてもくれないのです。

そしてまた年月がたち、妹をいじめた子たちは、高校生までの外を通っていきます。笑いながら、  
おしゃべりしながら・・・

このごろ妹は折り紙を折るようになりました。赤いつる青いつる白いつる、つるにうずまって。で  
もやっぱりふりむいてはくれないのです。

かあさんは泣きながらとなりの部屋で つるを折ります。つるを折っているとあの子の心がわかる  
ような気がするの・・・

ああ私の家をつるの家。わたしは野原を歩きます。草原にすわると いつの間にかわたしもつるを  
折っているのです。

ある日妹はひっそりと死にました。つるを手のひらにすくって、花といっしょに入れました。妹の  
話はこれだけです。